

いま、世界経済は止めどない動揺を続け、
各国政府は財政危機の中で政策対応に悩み続けている。

投機経済の暴走は、格差や貧困の拡大をもたらし、
民主政治によってこれらの問題を解決できるのかどうか問われている。

世界でも、日本でも、民主主義は、
社会矛盾を解決する仕組みとして、生き延びることができるのだろうか。

グローバルな政治経済危機を乗り越えるために、
イギリスの労働政権の政策アドバイザーを務めステーク・ホルダー・エコノミーという理念を創出した
ウィル・ハットン氏を迎え、民主政治によって社会的公正を実現するシナリオを考えたい。

グローバル経済危機の中で いかに公正を実現するか

— 基調講演 —

ウィル・ハットン (Will Hutton)

英国オックスフォード大学ハートフォードカレッジ学長

— パネリスト —

杉田 敦 (Atsushi Sugita)

法政大学教授

高橋 伸彰 (Nobuaki Takahashi)

立命館大学教授

— コーディネーター —

山口 二郎 (Jiro Yamaguchi)

北海道大学教授

symposium

2012年3月21日(水) 14:00~17:00(開場 13:30)

日英同時
通訳付き

衆議院第一議員会館 国際会議室 千代田区永田町1丁目
[東京外口] 丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前」駅、有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅

参加希望の方は、3月10日(土)までに、下記アドレスまでEmailにてお申し込みください。ただし受付は先着50名までとさせていただきます。〈参加費無料〉

〈お問い合わせ・参加申込み先〉

社団法人 生活経済政策研究所 Email: info@seikatsuken.or.jp TEL: 03-3253-3772